



www.nakanishikenji.jp

参議院議員／神奈川県選出

平成28年1月に今夏の参議院議員選挙神奈川県選出区

自民党推薦 候補予定者と決定いたしました。

中西けんじ

国政レポート・討議資料

私は、国際金融の最前線で21年間働いていました。大学を卒業したのは、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」などと、**日本全体に強烈な高揚感が満ちあふれていた**昭和63年です。しかしバブルが崩壊してからは「ジャパン・パッシング」「ジャパン・ナッシング」と言われる様になり、「日本人自身も、**あきらめてしまっているのではない**か」と危惧する日々がつづきました。

私は2人の子どもの父親です。「**日本という国の将来に、みんなが期待を持てるようにしなければならぬ**」との想いから、平成22年の参議院選挙に立候補し、79万票のご支持を頂き国政の場で活動をつづけてきました。

私はビジネスを通じて世界中の様々な人々と間近に接し、多様な生活ぶりにふれる機会に恵まれました。

た。この経験を生かし、経済の活性化や成長戦略の具体化にむけた提言をおこない「大規模な金融緩和」や「NISAの拡充」、「個人間での宿泊施設の融通（民泊）」など実際の政策として実現したのも少なくありません。

民間の活力が重要であることは、言うまでもありません。ただ「**明快な成長戦略**」を提示しなければ、国民が将来に期待を持って進んで行くことはできません。「国際社会で日本の立場を明確に主張」しなければ、日本人が日本に誇りを持つことなど夢物語となってしまいます。

「**活力あふれる日本へ**」その成長戦略の実現にむけて、力を尽くしてまいります。

参議院議員 **中西けんじ**

経済成長から始まる循環。

政治の輝きをとりもどす。

2025年問題というのがあります。いわゆる団塊の世代が2025年頃までに75歳以上となり、医療、介護、年金などの**社会保障費が大幅に増加**するということです。しかも、世代間の負担の格差だけでなく、「高齢者ほど格差が固定化しやすい」という問題が指摘されています。

この格差を是正すること、**本当に助けを必要とする人**に手を差し伸べていくことは政治の重要な役割です。しかし、分配だけを考えていくと、限られた大きさのパイの奪い合いになりかねません。

分配の問題だけではありません。**生産性の高い経済構造**に変化していかなければ、効率よく余裕を持って働ける社会にはなりません。そのためには、生産性の低い分野から高い分野へ「人、モノ、カネ」が移動する必要があります。しかし、経済が成長していない状態で人やモノを動かそうとすると、とんでもない痛みを伴ってしまいます。

1990年代前半のバブルの崩壊以降、日本の成長は20年以上も止まっていました。しかもデフレという難病にかかり、価格と賃金が互いを引っ張り合い、経済は縮小傾向をたどりました。「成長はすべてを癒す」という言い回しには、抵抗を感じる方も多いかと思われます。しかし、成長しない経済が、多くの経済的・社会的問題を解決できないことは**過去20年の経験**から明らかです。

成長しない経済は全てに影響をおよぼす。

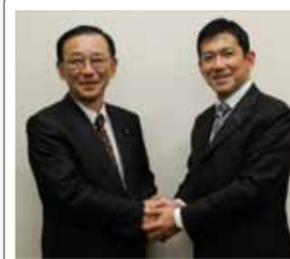
経済が成長していればこそ、その果実を使って社会保障を充実させることが可能になります。また、次の成長にむけて必要な施策も、スムーズに実行できるようになります。

「成長なんてできない」という人もいます。本当にそうでしょうか。「課題があるからできない」ではなく、課題を克服して日本のモデルを世界に示していくことこそ求められているのです。

1970年代のオイルショックに遭遇した時、われわれの先人たちは先進技術を磨くことで、厳しい環境規制下のアメリカ市場で爆発的に売れる車を作りました。

日本には優秀な科学技術があり、勤勉な国民がいます。

大規模な金融緩和政策によって、経済の収縮とデフレの悪循環に歯止めがかかりました。この**流れを逆回転させてはいけません**。これからの10年が大切です。「失われた20年に戻さないために。」



1月19日(火)、自民党より「中西けんじ」参議院議員が今夏の参議院議員選挙における神奈川県選出区の自民党推薦候補予定者となったことが発表されました。党本部にて谷垣禎一自民党幹事長とガッチリ握手をし「経済・金融政策が大変重要な時期ですので期待しております」との激励を受けました。